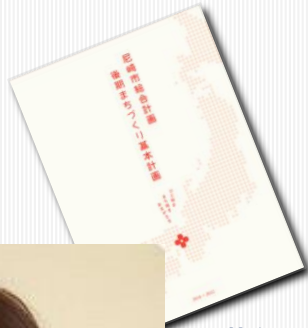


北海道自治体学会オンライン研究会

2022年2月5日(土)15:30-17:00

地方分権時代における首長の 政策ビジョンと政策過程



<講師> 元吉 由紀子 さん

大阪市立大学大学院都市経営研究科博士課程 NPO法人自治体改善マネジメント研究会代表 株式会社スコラ・コンサルト (プロセスデザイナー/行政経営デザイナー)

公務員のオフサイトミーティングなどにより自治体の風土改革を推進。また、組織変革を進めるプロセスを、首長や職員と一緒にやっている。厚生労働省、大阪府などの外部委員にも多数就任。

【著書】「どうすれば役所は変わるのか」2007年、「期待される役所へ～行政経営のムリ・ムダ・ムラを突破する!」2012年

【編著書】「地方が元気になる自治体経営を変える改善運動」2015年

地方分権、地方創生の時代においては、自治体の政策形成のあり方によって、自治体間での格差が生まれている。

新しい首長が、選挙時に掲げた政策ビジョンを、就任後、どのように実現していくのか、その政策形成過程と規定要因を、5つの都市のインタビューなどによって調査。政策ビジョンの変革レベルを4段階に整理して、それぞれの政策過程の特長などを浮き彫りにする。なお、本講演は、自治体学会誌である『自治体学』（2021年3月号）に掲載された研究論文をもとに行う。

参加者
募集!

◎オンライン研究会とは 北海道自治体学会が、コロナ禍のもと、会員や研究者、市民の皆さんの交流と研鑽の場を目指して2020年にスタートしたZoomを使った研究会です。参加は無料。原則毎月開催。統一テーマは「ポストコロナの自治」としています。研究会終了後は、オンライン交流会開催（自由参加）今回は19回目になります。



申込は

参加者には、使用するアプリZoomのリンクをお知らせします。

- ◎定員 50人 どなたでも参加できます
- ◎申込先 <https://forms.gle/aQXKqgmoWkAQ7WyT6> (QRコードからも)
- ◎締切り 2022年2月1日(火)
- ◎問合せ 運営委員(吉田) E-mail:fwgd5404@jcom.zaq.ne.jp

